

ニセ警察官にだまされないで！！

令和7年中、ニセ警察詐欺が175件(被害額約12億円)発生しました。
この手口は、自宅の固定電話や携帯電話あてに電話をかけてきて、警察官等を名乗り、言葉巧みにLINEのビデオ通話に誘導し、ニセの警察官がニセ警察手帳やニセ逮捕状等を見せる等して「あなたの口座が犯罪に使われている」「事件の容疑がかかっている」「守秘義務があるので誰にも言ってはいけない」等と言って不安にさせ、「口座の調査のためにお金を振り込む必要がある」等と言ってお金を振り込ませて騙し取るというものです。



ニセ警察官のキーワード

①

- ・「+44」や「最初が0でない番号」で電話がかかってくる。
- ・あなたの口座が犯罪グループに使われている
- ・あなたが事件の犯人として容疑がかかっている
- ・逮捕状が出ている
- ・守秘義務があるので家族にも言ってはいけない
- 等と言って不安にさせる。



②

メッセージアプリのビデオ通話で取り調べをしようと言ってきたり、逮捕状の画像などを送信してくる。



③

- ・潔白を証明するために口座のお金を調べる必要がある
- ・口座を凍結する
- ・優先的に捜査する
- ・逮捕を免れるために保証金が必要等の理由で、預金を全て別の口座に送金するように指示してくる。
- 「お金はお返しします」と言ってくる。
- ※検事が出てくる場合も。



対策



- ・一度電話を切って、自分で調べた番号やお住いの近くの警察に電話をしてください。
- ・警察がメッセージアプリで事情聴取をしたり、逮捕状などの画像を送信することは絶対にありません。
- ・国際電話番号など、知らない番号の着信は取らないようにしましょう。

滋賀県警察公式防犯アプリ「ぽけっとポリス しが」をダウンロードして防犯情報をチェック！！



ダウンロード
iOS, Android



<https://store.police.shiga.dsvc.jp/index.html?type=2>

「ぽけっとポリス しが」では、県内で発生している詐欺電話の情報などを配信しています。
情報を早く知って被害を防ぎましょう！

【1月】

詐欺の電話はアプリでブロック！

携帯電話に特殊詐欺の犯人から架電されるケースが急増しています。

犯人からの電話を直接受けないためには、犯人が使う国際電話番号などをアプリでブロックする対策が有効です。

警察庁推奨アプリを活用し無用な国際電話番号からの電話をブロックしましょう。



【2月】

「+」から始まる電話に要注意！

昨年「+」から始まる国際電話番号からの詐欺の電話が多発しています。

最近では末尾が「0110」となっているものや、実在する警察署の電話番号が表示されるケースが急増しています。



対応方法

- ・固定電話は国際電話番号からの着信を休止するサービスを活用する。
- ・携帯電話の場合は、アプリや各社のサービスを活用する(アプリ内課金等あり)。
- ・登録された番号以外の着信に出ないようにする。
- ・お金の話をされたら電話を切って、身近な家族や知人、自分で調べた警察署の番号に電話をする。